

授業科目(ナンバリング)	更生保護論(DB404)			担当教員	星野 秀治		
展開方法	講義	単位数	1 単位	開講年次・時期	4 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>更生保護について理解し、ソーシャルワーク実践の基礎を形成することを目的とする。</p> <p>更生保護とは犯罪や非行をした人の立ち直りを支援し、社会復帰を促進するための公共的な活動を指す。刑事施設や少年院には、病気や障害を抱えていたり、不遇な育成環境の中で社会性や自尊感情を育てられないままに生きざるを得なかった社会的弱者が多く存在する。また、福祉的支援が受けられないため、軽微な窃盗などを繰り返して、刑事施設に生活の場を求める高齢者や障害者も少なくない。</p> <p>本授業では、更生保護の基礎的な知識と考え方を習得し、司法福祉の課題について理解できるようにする。また、「人間尊重」の理念をふまえて、専門職としてどのように関わり支援していくかについて考え、実践できるようにする。</p>							①②④ ⑤⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 更生保護制度の仕組みについて正確に理解できる。 そのうえで社会福祉士の役割に関係づけて理解できる。 				定期試験	60%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 更生保護制度に関する課題について情報をもとに実践を分析することができる。 				レスポンスシート	30%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 更生保護制度に関する理解を深めるため、授業中に協働して取り組む力を獲得する。 更生保護制度に関する課題について議論し述べるができる。 				授業への参加度	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験(60%)と、レスポンスシート(30%)、授業への参加度(10%)によって評価する。</p> <p>定期試験は、筆記試験とし、専門職に必要とされる基礎知識や概念を理解できたかを評価する。</p> <p>レスポンスシートに対しては、次回授業の冒頭に、口頭でフィードバックを行う。</p> <p>「確認テスト」の実施を予定しているが、成績評価には反映しない。</p>							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。 人数により、適時グループディスカッション等を実施する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする 							
教科書・参考書							
<p>教科書：福祉臨床シリーズ編集委員会編『更生保護制度(社会福祉士シリーズ20)第3版』、弘文堂、2017</p> <p>参考書：池谷孝司編著『死刑でいいです——孤独が生んだ二つの殺人』、新潮文庫、2013</p> <p>指定図書：参考書と同じ</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること

イメージしづらく、覚えるべき事も多い科目である。刑事事件の記事など（参考文献も参照）に日頃からアンテナをはって、自分なりのものの見方を育て欲しい。裁判の傍聴等にも積極的に参加して欲しい。

書込みをしやすい教科書を選定している。後から見返して思い出せるように、たくさん汚し、自分なりの教科書に育てて欲しい。また友人等のスタイルを学んで、自分なりの書込みのスタイルを模索して欲しい。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 更生保護を学ぶ意義	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方を確認する ・更生保護を学ぶ意義を学ぶ ・事例を検討する 	予) 教科書のコラムを全て読む 復) 更生保護を学ぶ意義について考えをまとめる
2	更生保護と社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・更生保護と社会福祉について学ぶ ・刑事司法の現況について学ぶ ・更生保護法制の概観について学ぶ 	予) 1章を読む 復) 司法福祉の現況について復習する
3	更生保護法制① ：刑事司法と更生保護	<ul style="list-style-type: none"> ・刑事司法の中の更生保護について学ぶ ・仮釈放および生活環境の調整について学ぶ 	予) 2章1、2を読む 復) 更生保護の方法等について復習する
4	更生保護法制② ：保護観察、更生緊急保護等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護観察について学ぶ ・更生緊急保護について学ぶ ・恩赦について学ぶ 	予) 2章3、4、5を読む 復) 保護観察等について復習する
5	更生保護法制③ ：犯罪の予防と被害者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・犯罪の予防、被害者等の支援について学ぶ ・事例を検討する 	予) 3章を読む 復) 自分の意見をまとめる
6	更生保護制度の担い手 関係機関との連携 矯正施設と処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・保護観察官、保護司、更生保護施設、民間協力者、裁判所、検察庁、矯正施設、児童相談所、公共職業安定所、自治体等、民間団体などについて学ぶ 	予) 4章、5章、6章を読む 復) 保護司等の役割について復習する
7	医療観察制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医療観察法の概要についてについて学ぶ 	予) 7章を読む 復) 医療観察法における審判手続きについて復習する
8	近年の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会内処遇、少年司法について学ぶ ・特別な処遇、処遇の多様化について学ぶ ・事例を検討する 	予) 8章を読む 復) 更生保護の課題について考えをまとめる
9	定期試験	教科書、配布資料の中から出題する	